

2020年度事業報告書

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

1. 事業の成果

(1) 総括

当倶楽部の活動は定款に則り特定非営利活動に係る事業を中心に行った。当倶楽部の2020年度事業活動について、以下の通り報告する。

当倶楽部の特定非営利活動に係る事業は、定款第5条第1項に規定されているように、1) ジュニアラグビースクールの運営、2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業、3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業、4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業、5) その他倶楽部目的を達成するために必要な事業となっている。

また、神奈川県から「総合型地域スポーツクラブ」として承認を得て、ラグビーフットボールを中心としながらもその他のスポーツ競技の振興・普及に係る事業にも取り組み、生涯スポーツおよび地域スポーツの発展に貢献していく。

年間を通して新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの活動に制限を受けることとなった。

計画していたスクール創設50周年記念事業（倶楽部創設20周年記念事業）も、新型コロナの影響により中止することとなった。

1) ジュニアラグビースクールの運営

ラグビースクール（藤沢ラグビースクール）は、生徒数355名、登録指導員数80名にて運営し、神奈川県下でも有数の生徒数を抱えるラグビースクールである。毎週1回（小3以上は2回）の練習もグラウンドでの実施は7月～12月にとどまり、8月に予定していた合宿も中止せざるを得ない状況ではあったが、ラグビーを通じた青少年の指導・育成は継続的に行っている。また、秋には小3～中学のチームが県内のラグビーチームとの交流試合を行い、各学年とも相応の成果をあげた。

2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業

神奈川県ラグビーフットボール協会に所属するトップチーム（湘南プレイボーイズ）は、新型コロナウイルスの影響により6月まで活動を自粛したが、感染症対策を実施しながら練習を再開し、秋季は東日本トップクラブリーグに参戦し、各都道府県を代表するクラブチームとリーグ戦を行った。

シニアチームについては、定期的な練習を計画すると共に、メンバーを集めながらラグビーを通じて親睦を深め、マスターズ大会等への参加を目指しているが、今年度の活動は見送った。

3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業

例年行っている藤沢ラグビーフェスティバルや藤沢市民大会への参加、中学生の高校ラグビーフェスティバルの参加、未経験の子供を対象にしたラグビー体験会等の予定していた行事は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、実施を見送った。

タッチラグビーは、湘南グラスボーイズ&G主催の独自大会を通じて、近隣のチームとゲームを通じて、振興・普及に努めた。

スポーツ吹矢（歩楽吹倶楽部）は新型コロナウイルスの感染を考慮し、定例の練習等、吹矢の活動を中止した。なお、従来からの心身の健康を重視したスポーツ吹矢と参加者同士の懇親活動は継続して行うが、本年度を以て蹴球倶楽部から脱退する申し入れがあり、理事会で承認された。

4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業

新型コロナウイルスの影響により、従来の活動を行わなかった。

5) その他倶楽部目的を達成するために必要な事業

例年行っている、地域住民参加型のラグビーフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止することとなった。

また、タッチ（湘南グラスボーイズ&G）はグラウンドは独自で確保しており、練習・独自開催大会の開催には、安定したグラウンド確保のために努力している。

(2) 活動概要

1) ジュニアラグビースクールの運営

指導体制は昨年に引き続き、スクール校長の下に、ジュニアクラス（中1、中2～3）、ミニクラス（小3～4、小5～6）、ミルクークラス（幼～小2）の各学年にヘッドと指導員とを配置し、学年間での指導交流や合同練習をより推進できる体制とした。また、ミルクークラスについては、協力していただける生徒の父母に「ミルクークラス応援団」になってもらい、ミルクークラスの活動をサポートする体制を継続することとした。

ラグビースクールの活動については、緊急事態宣言中はグラウンドでの練習を自粛し、グラウンドでの練習実施時もカテゴリ毎に練習時間や場所を分けるなど、制限はあったが感染予防に努めながら活動を実施した。またオンラインによるミーティングやトレーニングも実施している。

3月28日の1日開催となった第11回神奈川県ミニラグビーファイナルカップに参加した小学6年生チームはグリーンブロック優勝を果たした。

2月28日には例年より規模を縮小してではあったが卒業式を実施し第45期生15名を送り出すことができた。

2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業

神奈川県ラグビーフットボール協会に所属するトップチームは、ラグビースクールOBを中心としたチームであるが、全国クラブラグビー大会へ出場し、クラブ選手権を制覇することを究極の目標としており、仕事や子育てに追われる一方で週末に練習を重ねている。従来はラグビースクールOBが主体であったが、リクルート活動の成果もあり、スクールOB以外のラグビー経験者やトップリーグ経験者の加入によって選手層に厚みが増し、かつチームプレーの徹底とコンビネーションの意識統一や個々の技術スキルの向上を図ってきた。今年度の東日本トップクラブリーグにおいては、新型コロナウイルスの影響により県外遠征が中止となり首都圏チームとの交流戦となった。

3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業

例年藤沢市ラグビーフットボール協会、神奈川県ラグビーフットボール協会、関東ラグビーフットボール協会等の主催するラグビーの振興と普及を図る活動に、積極的に参加、協力を行っているが、本年度はいずれも開催が見送られた。

タッチラグビーは、日々の練習において、内容の濃い練習を行うことが出来ており、10代から70代までの幅広い参加者が同じグラウンドでプレーできる内容となっている。

スポーツ吹矢については、通常の吹矢活動は行えなかったが、体操を行うなど、身体を動かすことで心身の健康維持に努めた。

4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業

新型コロナウイルスの影響により、従来の活動を行わなかった。

5) その他スポーツを通じた地域活動

毎年恒例のラグビーフェスティバルを3月に予定していたが新型コロナウイルスの感染拡大の影響により今年は中止とした。本フェスティバルは、地域住民との交流やラグビーフットボールへの理解を深めることに効果があり、地域住民の参加者も多く、参加者の中から、ラグビースクールへの入校者も出て、ラグビーフットボールの振興普及に対して有効であるため、今後も継続して実施して行く。また、12月に地域交流の一環として参加している辻堂砂山児童館祭の開催も中止された。

6) NPO法人としての社会貢献活動や安全対策強化

2000年にNPO法人化して以降、特定非営利活動法人格を持つラグビーチームとして、社会貢献活動への協力についても模索していく。

また、「乳がんの早期発見及び乳がん検診の啓発運動（ピンクリボン運動）」を推進しているNPO法人J. POSHの活動に協賛し、倶楽部としてピンクリボン運動のロゴマークをジャージに貼付する等、活動を継続している。

その他、安全対策の強化として、倶楽部としてAED（半自動除細動器）を購入し、心停止状態発生の緊急事態に備え、活動中常備することとした。

7) 広報活動の強化

各部門からの情報発信に対して様々な方面からの反響があり、特にスクールのリクルートツールとして入校関連の問い合わせが寄せられている。今後とも「スポンサー企業様への活動報告ツール」、「在籍する正会員やOB・OGへの情報発信ならびに活動報告ツール」としての側面もあわせ、活動を内外にアピールしていく。

昨年度も、神奈川県ラグビーフットボール協会・各自治体関係をはじめとするラグビー各イベントや広報紙へ倶楽部の広告を掲載し、活動をアピールしている。

また、ラグビースクールは、ホームページおよびSNS（フェイスブック）により活動報告を行ってトップチームでは、ホームページのほかSNS（フェイスブック）を活用し、チーム広報やリクルート活動を行い成果が出ている。

タッチは練習風景をフェイスブックで公開。またその中に楽しいエピソードを入れることでメンバーが増加している。また、大会以外にもチームジャージを着用することで、湘南グラスボーイズ&Gの浸透を狙っている。またフェイスブックの優位性を生かし、国内・海外メンバとの交流も行うことが出来ている。

8) その他倶楽部の目的を達成するための事業

新型コロナウイルスの影響により、従来の活動を行わなかった。

(3) 本年度会員数、各事業登録者数

以上の活動を支える当倶楽部の会員数は、2021年3月末時点で下記となっている。

正会員	124名
個人賛助会員	0名
法人賛助会員	0社

また、各事業活動の登録者数は下記の通りである。

ラグビースクール：	生徒数	355名
	指導員数	80名
トップチーム	：	20名
タッチチーム	：	24名
シニアチーム	：	40名
スポーツ吹矢	：	12名

以上

2. 事業内容

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	事業計画	実施日時	実施場所	従事実人数	受益対象者範囲と人数	支出額(千円)	活動実績と結果
1. ジュニアラグビースクールの運営(定款第5条第1項第1号に係る事業)	1. 地域における4歳から18歳までの少年、少女を対象としたラグビーの技術的・精神的指導	毎日曜日 小3以上は土曜日も実施	汐見台グランド 秋葉台球技場 ほか	80名	4歳～15歳 約350名	登録 468 用具1,390 グランド153 保険 467	グラウンドでの練習は7～12月(緊急事態宣言期間中は集合練習を自粛)オンラインも活用
	2. 春合宿練習	5月	山中湖	15名	中学生 約70名		新型コロナの影響で未実施
	3. 静岡県ヤマハララグビースクールとの交流	6月	藤沢市	12名	小5、小6 約60名		新型コロナの影響で未実施
	4. 中学菅平ジャンボリー	7月	菅平高原	15名	中学生 70名	1,785	新型コロナの影響で未実施
	5. 夏合宿練習	8月	山梨県 富士緑の休暇村	60名	小3～中3 約200名	7,318	新型コロナの影響で未実施
	6. 湘南カップなど他スクールとの交流大会参加	4～3月	神奈川県内	76名	幼児～中3 約300名		新型コロナの影響で未実施
	7. 中学3年生卒業式	3月	藤沢市	20名	中3 15名	185	新型コロナの影響で規模を縮小
	8. コーチ、レフェリー、メディカルサポート等指導監督者の育成プログラムへの参加など	随時	神奈川県内	76名	76名	61	一部オンラインで受講
	9. C級レフェリー資格試験	3月			0名	0名	新型コロナの影響で未実施
2. ラグビークラブチームの育成指導に係る事業(定款第5条第1項第2号に係る事業)	1. トップチームの育成指導	毎日曜日	秋葉台球技場 ほか	20名	成人男子20名	100	トップチームは新規メンバーの強化を図り、東日本トップクラブリーグ、各大会参加
	セブンス大会	4月～8月	東京都ほか	30名	30名		新型コロナの影響で未実施
	東日本クラブ選手権	4月～7月	保土ヶ谷公園 ほか	20名	20名		開催内容を縮小して実施
	2. シニアチームの育成指導	隔週日曜日	辻堂海浜公園				新型コロナの影響で未実施
	交流試合	9月～2月	善行グラウンド	40名	40名		新型コロナの影響で未実施 ラグビースクール活動の範囲内で実施
3. 女子チームの育成指導							
ガールズフェスティバル ほか	11月	埼玉県	4名	20名	61	新型コロナの影響で未実施	
3. ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興普及に係る事業(定款第5条第1項第3号に係る事業)	1. 藤沢ラグビーフェスティバルへの参加	7月	秋葉台球技場	72名	約300名		新型コロナの影響で未実施
	2. 藤沢市民大会	9月	秋葉台球技場	72名	約300名		新型コロナの影響で未実施
	3. ラグビーフェスティバル	3月	辻堂海浜公園	72名	約700名	103	新型コロナの影響で未実施
	4. ラグビースクール交歓運動会	12月	大和スポーツセンター	72名	約300名		新型コロナの影響で未実施
	5. ラグビー教室の開催	4月	藤沢市	72名	約320名		新型コロナの影響で未実施
	6. タッチチーム						6. 楽しく、強くなるチームづくり
	千葉大会	5月	千葉県	14名	約200名	180	新型コロナの影響で未実施
	東京大会	5月	東京都	14名	約200名		新型コロナの影響で未実施
	全日本大会	7月	近県	14名	約300名	60	新型コロナの影響で未実施
	第16回湘南大会	7月	辻堂海浜公園	40名	約100名		新型コロナの影響で未実施
第16回湘南大会(エンゾイ)	8月	親水公園	14名	約100名		新型コロナの影響で未実施	
第16回湘南大会(コン)	9月	親水公園	14名	約100名		新型コロナの影響で未実施	
第16回湘南大会(秋)	秋	親水公園	14名	約150名		新型コロナの影響で未実施	
全日本大会	11月	近県	14名	約300名		新型コロナの影響で未実施	
第16回湘南大会(ミック)							
7. スポーツ吹矢	4月～3月	親水公園	14名	約100名		新型コロナの影響で未実施	
8. 倶楽部広報紙の発行	3月	砂山市民の家 倶楽部事務所	13名	13名		体操のみ実施	
9. H.P.の運営		倶楽部事務所	1名	会員、生徒			
10. 中学3年生卒業文集作成	3月	倶楽部事務所	4名	会員、生徒	16	9. 練習予定日等をアップ 10. 中学3年生および父母、指導員で卒業文集を作成	
4. 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業(定款第5条第1項第4号に係る事業)	1. 高校ラグビー部フェスティバルへの参加	6月	各高校グラウンド	15名	中学生約70名		新型コロナの影響で未実施
	東海大相模高校 桐蔭学園高校						
	2. ミルキークラス地引綱	6月	藤沢市	60名	幼児～小2 約150名	124	新型コロナの影響で未実施
3. 湘南カップ(ミルキークラスの交流大会)	2月	神奈川県内	20名	幼児～小2 約300名	40	新型コロナの影響で未実施	

	4. かけっこ教室の開催	11月～2月	藤沢市	8名	小1～小2 約120名		未実施
	5. 全国ライフセービング協会記念式典への参加	10月	藤沢市	1名			未実施
	6. 辻堂砂山児童館祭への参加	12月	藤沢市	10名	20名	68	新型コロナの影響で未実施
	7. 地域清掃活動	4月～3月	藤沢市	60名	60名		未実施
	8. 宮城県タッチ協会支援	3月	フットメッセ 長町	1名	約160名		新型コロナの影響で未実施
	9. ピンクリボン運動への参加	通年	神奈川県	11名	約500名		9. ラグビージャージにピンクリボン運動のロゴマークを貼付
5. その他倶楽部の 目的を達成するた めに必要な事業 (定款第5条第1項 第5号に係る事業)	1. 寄付金募集をはじめとする藤沢ラグビースクール創設50周年・特定非営利活動法人藤沢ラグビー蹴球倶楽部創立20周年記念事業の準備	通年	首都圏	15名	一般、会員、 OB		中止